

ArcDR³ 学生交流フォーラム「Confluence and Transfer :: Ideas in Exchange」を開催しました（2021/6/19）

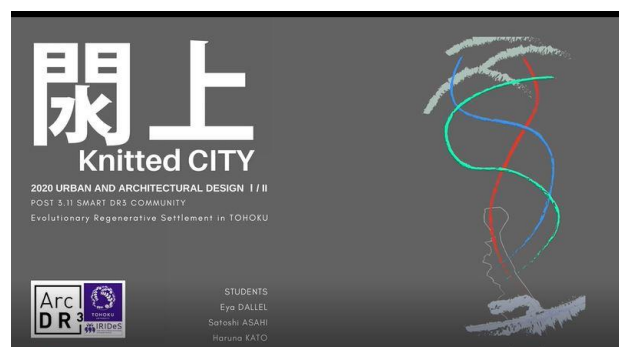
テーマ：ArcDR³、APRU マルチハザードプログラム、学生交流、仙台防災未来フォーラム、都市防災、仙台防災枠組、災害リスク軽減、レジリエンス、復旧・復興、コロナ禍、ポストコロナ教育
場所：Zoom オンライン、YouTube ライブストリーミング

カリフォルニアロサンゼルス校（UCLA）の Architecture and Urban Design xLAB、東北大学災害科学国際研究所（IRIDeS）、および日本科学未来館が、環太平洋大学協会マルチハザードプログラム（注 1）の一環として設立した、ArcDR³（災害リスク軽減とレジリエンスのための建築と都市デザインイニシアチブ）主催の学生交流フォーラムが開催されました。

ArcDR³ が始動した 2019 年には想定していなかったコロナ禍により、予定通りの対面による活動はできませんでしたが、一方オンラインで世界的に繋がるデザイン教育の先端的な交流の場として機能してきました。今回の学生交流フォーラムは、「New Agendas for Regenerative Urbanism」という ArcDR³ が設定した共通のテーマで建築デザインスタジオを実施してきた 11 の参加大学（注 2）の学生たちが集まり、各々の成果を発表し、アイデアを交換する場となりました。企画はメルボルン大学のドナルド・ベイツ教授らが行い、当研究所も事務局を務めました。東北大学からは、工学研究科の石田壽一教授と小野田泰明教授（空間デザイン戦略研究分野兼任）のスタジオの学生 4 名（Eya Dallel さん、Zhou Zihan さん、加藤春奈さん、朝日智さん）が代表として参加しました。コロナ禍の状況やポストコロナを見据えての教育のあり方も大きく取り上げられました。閉会時には、UCLA の阿部仁史教授より、ArcDR³ の次回イベントである 2022 年 4 月の展示会（三井不動産創立 80 周年および未来館との協賛展示会）について正式発表がありました。



ArcDR3 学生交流フォーラム
メインスクリーン



東北大学の発表



学生同士の質疑応答



UCLA 阿部教授の挨拶

(注1) 環太平洋大学協会マルチハザードプログラム：<http://aprumh.irates.tohoku.ac.jp>

東日本大震災を受けて、環太平洋大学協会の活動の一環として当研究所が担っているプログラム。関係大学と災害研究の連携・推進、サマープログラムの開催、シンポジウム会議の定期開催、セーフティ・キャンパスの推進などの事業を推進している。

(注2) ArcDR³参加大学：

カリフォルニア大学ロサンゼルス校（米国）／カリフォルニア大学バークレー校（米国）／東京大学（日本）／清華大学（中国）／ワシントン大学（米国）／メルボルン大学（オーストラリア）／シンガポール国立大学（シンガポール）／香港大学（香港）／チリ・カトリック大学（チリ）／国立成功大学（台湾）／東北大学（日本）

関連情報

YouTube ライブストリーミング配信：

<https://www.youtube.com/watch?v=j54nBPac7Oo>

ArcDR³ ホームページ：

<https://xlab.aud.ucla.edu/irates-tohoku-arcdr3/>